

職業実践専門課程の基本情報について

| | | | | | | | |
|----------------------|---|---|------------------------|------------------------------|-------------------|--|--|
| 学 校 名 | | 設置認可年月日 | | 校 長 名 | | 所 在 地 | |
| 専門学校社会医学技術学院 | | 昭和48年3月31日 | | 山田千鶴子 | | 〒184-8508 東京都小金井市中町2-22-32 (電話) 042-384-1030 | |
| 設 置 者 名 | | 設立認可年月日 | | 代 表 者 名 | | 所 在 地 | |
| 一般財団法人日本リハビリテーション振興会 | | 平成25年4月1日(財団法人より移行認可) | | 宮武 剛 | | 〒184-8508 東京都小金井市中町2-22-32 (電話) 042-384-1030 | |
| 目 的 | 4年次には「身体障害」「高齢者・発達障害」「精神障害」の3領域全ての臨床実習を行う。そうした実習を含めたカリキュラムを履修することで、患者の多種多様な人生に寄り添う姿勢を持ち、知識のみならず幅広い技能を身につけた作業療法士を養成する。 | | | | | | |
| 分野 | 課程名 | 学科名 | 修業年限 (昼、夜別) | 全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数 | 専門士の付与 | 高度専門士の付与 | |
| 医療 | 医療専門 | 作業療法学科 | 夜 4年 | 3110時間 | 平成7年1月23日文科省告示第7号 | なし | |
| 教育課程 | | 講義 | 演習 | 実験 | 実習 | 実技 | |
| | | 1595時間 | 270時間 | 0時間 | 1215時間 | 30時間 | |
| 生徒総定員 | | 生徒実員 | | 専任教員数 | | 兼任教員数 | |
| 140人 | | 101人 | | 6人 | | 18人 | |
| 学期制度 | | ■1学期：4/1～9/30 ■2学期：10/1～3/31 ■3学期： | | 成績評価 | | ■成績表(有・無) ■成績評価の基準・方法について 成績評価は学科試験により授業目標の達成度を評価し、学習態度及び出席状況等を総合して行う。 | |
| 長期休み | | ■学年始め： ■夏 季：8/1～8/31 ■冬 季：12/24～1/5 ■学 年 末：3/21～3/31 | | 卒業・進級条件 | | 各学年所定の授業科目のすべてに合格した者は進級又は卒業を認める。 | |
| 生徒指導 | | ■クラス担任制(有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 欠席が授業回数の1/3を超えた者は評価を受けることができないが、欠席の理由がやむを得ないと認められ、科目の補填が可能な場合に限り、教育会議の議を経て評価を受けることができる。 | | 課外活動 | | ■課外活動の種類 各種ボランティア活動(精神科領域の病院の行事における患者のサポート、特別支援学校における発達障害児の付き添い、など) ■サークル活動(有・無) 歌やサカケによる音楽活動、陶芸、フットサル、キックボクシング | |

| | | | |
|---------|--|---------|---------------|
| 就職等の状況 | <p>■主な就職先、業界 医療、福祉施設 杉並リハビリテーション病院、介護老人保健施設 かたて、東葛病院、中野共立病院、柳原リハ リテーション病院、国立精神・神経医療研究セン ター病院、東京武蔵野病院、国立病院機構埼 玉病院、羽村三慶病院、久我山病院、相模 原協同病院、他</p> <p>■就職率 100 %</p> <p>■卒業者に占める就職者の割合 96%</p> <p>平成29年4月1日現在</p> <p>「就職率」は、就職希望者に占める就 職者の割合とする。</p> <p>「就職率」における「就職希望者」は 「進学」「留年」「資格取得」などの 者を含まない。</p> | 主な資格・検定 | 作業療法士国家試験受験資格 |
| 中途退学の現状 | <p>■中途退学者3名 ■中退率3.1% 平成28年4月1日在学者98名（平成28年4月入学者を含む） 平成29年3月31日在学者95名（平成29年3月卒業生を含む）</p> <p>■中途退学の主な理由 進路変更、体調不良など</p> <p>■中退防止のための取組：担任教員による面談や保護者との連携、また臨床心理士による心のケア などを行っている</p> | | |
| ホームページ | URL: http://www.sigg.ac.jp | | |

1. 教育課程の編成

（教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針）

理学療法士・作業療法士育成のための教育課程の編成・改善にあたり、以下の方針で病院・施設等と密接に連携する。

- (1) 常に進歩・変化していく現場のニーズを、いち早く教育に取り入れる。
- (2) 全ての教育課程を臨床的実践力として結実させる。
- (3) 臨床実習により役立つよう学内授業を工夫する。
- (4) 学内授業がより役立つよう臨床実習を工夫する。

（教育課程編成委員会等の全委員の名簿）

平成29年9月1日現在

| 名 前 | 所 属 |
|--------|----------------------------|
| 山口 昇 | 合同会社ライフケアゆうあい |
| 小林 賢 | 慶應義塾大学病院 |
| 佐藤 直 | 元 東京YMCA 医療福祉専門学校 作業療法学科教員 |
| 山田 隆介 | 新座病院 |
| 大久保孝彦 | 八王子保健医療生活協同組合 |
| 山田 千鶴子 | (専) 社会医学技術学院 学院長 |
| 和島 英明 | (専) 社会医学技術学院 理学療法学科長 |
| 帯刀 隆之 | (専) 社会医学技術学院 副学院長 |
| 中村 伴子 | (専) 社会医学技術学院 作業療法学科長 |
| 遠藤 敏 | (専) 社会医学技術学院 副学院長 |
| 林 弘康 | (専) 社会医学技術学院 キャリア支援室長 |
| 小川 克巳 | (公社) 日本理学療法士協会 副会長 |
| 下岡 隆之 | 東京都作業療法士会 理事 |
| 丸山 仁司 | 全国リハビリテーション学校協会 事務局長 |

（開催日時）

第7回 平成28年9月20日 18:30～21:00

第8回 平成29年3月16日 18:30～21:00

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

臨床実習

- (1) 学内学習を臨床で正しく応用・統合する。
- (2) 実習に必要な基礎学習の不足を本学へフィードバックする。
- (3) 学生の個性が学習に生かされるよう実習施設と本学と個々に連携する。

学内実習・演習

- (1) 最新の知見をより実践的に学習するため適宜外来講師を招聘する。
- (2) 臨床実習での応用がより円滑になるように適切な「臨床実習指導者」を招聘する。
- (3) 上記の目的で「臨床実習指導者」と意見交換を行い、実習・演習に活用する。

| 科目名 | 科目概要 | 連携企業等 |
|---------|-------------------------------------|------------|
| 臨床実習Ⅰ | 検査測定の実施とその記録 | 別紙様式3-1を参照 |
| 臨床実習Ⅱ | 担当症例の評価、分析・統合・解釈、治療計画立案、片麻痺の検査測定、記録 | 別紙様式3-1を参照 |
| 臨床実習Ⅲ-A | 理学療法全般の評価及び治療の実施 | 別紙様式3-1を参照 |
| 臨床実習Ⅲ-B | 理学療法全般の評価及び治療の実施 | 別紙様式3-1を参照 |

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

- ・教員は、本学の教育が社会のニーズに合致し、かつ最新・最高に維持され、多様な学生に最適の方法で行われるために、病院・施設等と連携して研修・研究を行う。
- ・教員は各自の教授内容および教授方法の質向上を図るとともに、ハラスメントの防止等、学校運営に関する研修の充実も図る。
- ・研修等の内容は教員各自に対して、自身の希望や多角的検討の上、学校が最終的な計画を決定する。
- ・研修・研究状況は教員個人のキャリアであると共に教育の質の指標でもあるので、内容を公開して学校選択の参考資料とする。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成29年9月1日現在

| 名前 | 所属 |
|--------|-----------------------|
| 武市 裕貴 | 介護老人保健施設 小金井あんず苑 副施設長 |
| 鈴木 茂哉 | 小金井市福祉保健部 高齢福祉課長 |
| 長浜 美智穂 | 前久我山病院リハビリテーション科科长 |
| 花宮 豊 | 吉祥寺病院 |
| 久富 祥生 | (株)ファンコーポレーション代表 |
| 大関健一郎 | 帝京科学大学 医療科学部 作業療法学科 |
| 西村 和美 | 東京都立昭和高校教諭 |
| 小川 精二 | 元東京農工大学事務長 |

(開催日時)

第7回 平成28年9月28日 18:30～21:00

第8回 平成29年3月2日 18:30～21:00

(学校関係者評価結果の公表方法) 学院ホームページ

URL: <http://www.sigg.ac.jp>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.sigg.ac.jp>

授業科目等の概要

(医療専門課程作業療法学科) 平成 29 年度

| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業時数 | 単位数 | 授業方法 | | |
|----|------|------|-----------|---|---------|------|------------|------|--------|----------|
| 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | | 講義 | 演習 | 実験・実習・実技 |
| ○ | | | 臨床心理学 | 対象者の心理を理解するための検査法, ならびに心理治療の概要を学習する | 1 後 | 30 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 人間発達学 | 人間の発達を身体運動, 対人関係, 認知機能, 言葉, 人格の側面から学習する | 1 後 | 30 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 医療情報学 | 医療人としての情報の活用法および学習法, 基本的な社会人としての振るまい等を学習する | 1 前 | 30 | 2 | ○ | △ | △ |
| ○ | | | 作業療法研究法Ⅰ | 臨床活動のまとめや研究を行うために基本となる各種研究法を学習する | 1 後 | 30 | 2 | ○ | △ | |
| ○ | | | 作業療法研究法Ⅱ | 臨床実習で担当した症例について, 教員の指導の下, 研究法に従って症例報告書としてまとめる | 4 後 | 15 | 1 | | ○ | |
| ○ | | | 作業療法研究法演習 | 各自がまとめた症例研究報告書を学生相互に検討・研究する | 4 後 | 30 | 2 | | ○ | |
| ○ | | | 行動科学 | 人間の行動変容を促すための理論や要因, 必要な技術などについて学習する | 4 後 | 30 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 統計学 | 研究法に用いられる統計的手法およびそれに使われる統計ソフトの使用法について学習する | 3 後 | 30 | 2 | ○ | | △ |
| ○ | | | 解剖学Ⅰa | 解剖学のうち, 筋骨格系について学習する | 1 前 | 60 | 2 | ○ | △ | △ |
| 合計 | | | | | 9 科目 | | 285 単位時間 (| | 17 単位) | |

授業科目等の概要

(医療専門課程作業療法学科) 平成 29 年度

| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業時数 | 単位数 | 授業方法 | | |
|----|------|------|-------|--------------------------------------|---------|-------------------|-----|------|----|----------|
| 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | | 講義 | 演習 | 実験・実習・実技 |
| ○ | | | 解剖学Ⅰb | 解剖学のうち、消化器系、感覚器系について学習する | 1後 | 60 | 2 | ○ | △ | △ |
| ○ | | | 解剖学Ⅱ | 解剖学のうち、神経系、脈管系について学習する | 1前 | 60 | 3 | ○ | △ | △ |
| ○ | | | 生理学Ⅰ | 生理学のうち、運動生理学について学習する | 1通 | 60 | 3 | ○ | | △ |
| ○ | | | 生理学Ⅱ | 生理学のうち、生体恒常性の生理学について学習する | 1通 | 60 | 3 | ○ | | △ |
| ○ | | | 運動学Ⅰ | 人体運動の表記、関節・筋の構造と運動、筋触診法について学習する | 1通 | 60 | 3 | ○ | | △ |
| ○ | | | 運動学Ⅱ | 歩行や移動動作等の人体の運動を分析するために必要な運動学的知識を学習する | 2前 | 30 | 2 | ○ | | △ |
| ○ | | | 運動学演習 | 日常生活活動を分析するために必要な運動学的知識を学習する | 2前 | 30 | 2 | △ | ○ | |
| ○ | | | 病理学概論 | 各種の疾患の病態や原因について学習する | 1後 | 30 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 神経内科学 | 神経学的症状を呈する疾患の病因や治療方法について学習する | 2前 | 60 | 3 | ○ | | |
| 合計 | | | | | 9科目 | 450 単位時間 (23 単位) | | | | |

授業科目等の概要

(医療専門課程作業療法学科) 平成 29 年度

| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業時数 | 単位数 | 授業方法 | | |
|----|------|------|-------------|--|---------|------------|-----|--------|----|----------|
| 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | | 講義 | 演習 | 実験・実習・実技 |
| ○ | | | 整形外科学 | 整形外科的症状を呈する疾患の病因や治療方法について学習する | 2通 | 60 | 3 | ○ | | |
| ○ | | | 精神医学 | 精神医学的症状を呈する疾患の病因や治療方法について学習する | 2前 | 30 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 臨床医学 | 内科および小児科の疾患の病因や治療方法を学習する | 2前 | 60 | 3 | ○ | | |
| ○ | | | リハビリテーション概論 | リハビリテーションの歴史や理念、概要について学習する | 1前 | 30 | 2 | ○ | △ | |
| ○ | | | リハビリテーション医学 | リハビリテーション医学の概念と各障害に対するリハビリテーション医学の概要について学習する | 2後 | 30 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 作業療法概論 | 作業療法の歴史や理念、概要について学習する | 1前 | 30 | 2 | ○ | △ | |
| ○ | | | 基礎作業学総論 | 作業の定義、分類、作業を治療的に用いるための観点について学習する | 2前 | 30 | 2 | ○ | | △ |
| ○ | | | 基礎作業学Ⅰ | 作業療法に用いる各種手工芸活動と作業分析の基礎について学習する | 1後 | 30 | 2 | △ | | ○ |
| ○ | | | 基礎作業学Ⅱ | 作業療法に用いるネット手芸・木工・陶芸活動について学習する | 2後 | 30 | 2 | △ | | ○ |
| 合計 | | | | | 9科目 | 330 単位時間 (| | 20 単位) | | |

授業科目等の概要

(医療専門課程作業療法学科) 平成 29 年度

| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業時数 | 単位数 | 授業方法 | | |
|----|------|------|-----------|-----------------------------------|---------|------|-----------|------|-------|----------|
| 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | | 講義 | 演習 | 実験・実習・実技 |
| ○ | | | 基礎作業学Ⅲ | 作業を用いた評価の視点および評価法について学習する | 2後 | 30 | 2 | ○ | | △ |
| ○ | | | 基礎作業学Ⅳ | 人の生涯を通しての作業の用いられ方について学習する | 3前 | 15 | 1 | △ | ○ | |
| ○ | | | 基礎作業学Ⅴ | 芸術活動や手工芸を治療的に用いるための創意工夫について学習する | 3前 | 15 | 1 | △ | ○ | |
| ○ | | | 作業療法評価学Ⅰ | 基本的な身体機能を作業療法評価するための知識、技術について学習する | 2前 | 30 | 2 | ○ | | △ |
| ○ | | | 作業療法評価学Ⅱ | 基本的な発達機能を作業療法評価するための知識、技術について学習する | 2後 | 30 | 2 | ○ | | △ |
| ○ | | | 作業療法評価学演習 | 作業療法評価学Ⅰで学習した内容を演習形式で習得する | 2後 | 30 | 1 | △ | ○ | |
| ○ | | | 日常生活評価学 | 日常生活活動を作業療法評価するための知識、技術について学習する | 2後 | 30 | 2 | ○ | | △ |
| ○ | | | 日常生活評価学演習 | 日常生活評価学で学習した内容を演習形式で習得する | 3前 | 30 | 2 | △ | ○ | |
| ○ | | | 職業関連活動評価学 | 就労に必要な能力を作業療法評価するための知識、技術について学習する | 3前 | 30 | 2 | ○ | | △ |
| 合計 | | | | | 9科目 | | 240単位時間 (| | 15単位) | |

授業科目等の概要

(医療専門課程作業療法学科) 平成 29 年度

| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業時数 | 単位数 | 授業方法 | | |
|----|------|------|-------------|--|---------|------------|-----|--------|----|----------|
| 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | | 講義 | 演習 | 実験・実習・実技 |
| ○ | | | 身体障害作業治療学 | 身体障害領域の作業療法治療についての知識、技術について学習する | 3通 | 90 | 3 | ○ | △ | △ |
| ○ | | | 身体障害作業治療学演習 | 身体障害領域の作業療法治療を実施するために必要な技術について、演習形式で習得する | 3前 | 30 | 2 | △ | ○ | |
| ○ | | | 精神障害作業治療学 | 精神障害領域の作業療法治療についての知識、技術について学習する | 3通 | 90 | 3 | ○ | △ | △ |
| ○ | | | 精神障害作業治療学演習 | 精神障害領域の作業療法治療を実施するために必要な技術について、演習形式で習得する | 3後 | 30 | 2 | △ | ○ | |
| ○ | | | 発達障害作業治療学 | 発達障害領域の作業療法治療についての知識、技術について学習する | 3通 | 60 | 3 | ○ | △ | △ |
| ○ | | | 発達障害作業治療学演習 | 発達障害領域の作業療法治療を実施するために必要な技術について、演習形式で習得する | 3前 | 30 | 2 | △ | ○ | |
| ○ | | | 老年期障害作業治療学 | 老年期障害領域の作業療法治療についての知識、技術について学習する | 3後 | 30 | 2 | ○ | △ | △ |
| ○ | | | 臨床精神医学 | 作業療法治療を行うために必要な精神医学の知識について学習する | 2後 | 60 | 3 | ○ | | |
| ○ | | | 生活適応学 | 対象者が環境に適応し生活できるようになるために必要な知識、技術について学習する | 3前 | 30 | 2 | ○ | | △ |
| 合計 | | | | | 9科目 | 450 単位時間 (| | 22 単位) | | |

授業科目等の概要

(医療専門課程作業療法学科) 平成 29 年度

| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業時数 | 単位数 | 授業方法 | | |
|----|------|------|----------|--|---------|------------|-----|--------|----|----------|
| 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | | 講義 | 演習 | 実験・実習・実技 |
| ○ | | | 生活適応学演習 | 生活適応学で学習した内容を演習形式で習得する | 3前 | 30 | 2 | △ | ○ | |
| ○ | | | 臨床作業療法 | 作業療法各領域の作業療法治療に必要とされる臨床技能について学習する | 3後 | 30 | 2 | △ | ○ | |
| ○ | | | 地域作業療法学Ⅰ | 地域リハビリテーションにおける作業療法の役割や可能性について学習する | 2後 | 30 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 地域作業療法学Ⅱ | 地域リハビリテーションを推進する上で必要な管理・運営業務について学習する | 3後 | 30 | 2 | ○ | △ | |
| ○ | | | 社会福祉学 | 老人福祉、障害者福祉について概要や社会福祉の諸制度について学習する | 4後 | 20 | 1 | ○ | | |
| ○ | | | 臨床実習Ⅰ | 臨床現場で実際に、身体障害者に対する作業療法評価の技術を習得する | 2後 | 90 | 2 | | | ○ |
| ○ | | | 臨床実習Ⅱ | 臨床現場で実際に、精神障害者に対する作業療法評価の観点を習得する | 3前 | 45 | 1 | | | ○ |
| ○ | | | 臨床実習ⅢA | 臨床現場で実際に、身体、精神、発達、高齢期いずれかの領域で、作業療法の評価から治療までの知識と技術を習得する | 4前 | 360 | 8 | | | ○ |
| ○ | | | 臨床実習ⅢB | 臨床現場で実際に、身体、精神、発達、高齢期いずれかの領域で、作業療法の評価から治療までの知識と技術を習得する | 4前 | 360 | 8 | | | ○ |
| 合計 | | | | | 9科目 | 995 単位時間 (| | 28 単位) | | |

授業科目等の概要

(医療専門課程作業療法学科) 平成 29 年度

| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業時数 | 単位数 | 授業方法 | | |
|-----|------|------|--------|--|---------|-------------|---------|------|----|----------|
| 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | | 講義 | 演習 | 実験・実習・実技 |
| ○ | | | 臨床実習ⅢC | 臨床現場で実際に、身体、精神、発達、高齢期いずれかの領域で、作業療法の評価から治療までの知識と技術を習得する | 4 後 | 360 | 8 | | | ○ |
| | | | | 以下余白 | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| 合計 | | | | 1 科目 | | 360 単位時間 (| 8 単位) | | | |
| 総合計 | | | | 55 科目 | | 3110 単位時間 (| 133 単位) | | | |